

第4号様式（第10条関係）

会 議 録 （要 旨）

会 議 名	第3回武蔵村山市観光施策検討協議会
開 催 日 時	平成22年12月22日（水）午前10時00分から午前11時40分まで
開 催 場 所	市役所3階 301会議室
出席者及び欠席者	出席者：溝尾良隆、高橋茂明、高橋敏彦、古屋勤、小澤良一（鳥居武徳の代理）、中西正樹、佐保満和、高橋正美、高橋昭、乙幡章吾、宮澤聖和、鳴川和広 欠席者：乙幡清次、青柳真紀子、小林充子、乙幡弘 事務局：市民生活部長、地域振興課長、地域振興課農政グループ主査、同グループ主任、地域振興課産業振興グループ主査、同グループ主任
報 告	第2回観光施策検討協議会の会議録について
議 題	(1) 練馬区の観光施策について (2) その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	(1) 練馬区の観光施策について 講師は、練馬区企画部情報政策課庁内情報係次席井上努氏。練馬区の観光施策について説明。 (2) その他 今後の会議の開催日は、第4回検討協議会は1月21日視察。第5回観光施策検討協議会は2月23日に行う。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。)  ◎ 講 師  ○ 委 員	(1) 練馬区の観光施策について ◎ 練馬区の概要 ・ 都内最高温度を記録 ・ 人口都内第2位 ・ 工場等の施設が少なく住宅街が多い。 ・ 観光施設が少ない（主な観光施設は豊島園ぐらい） ・ 区の印象があまりよく知られていない。 ・ 区民は、区外で49%の消費を行なっている。消費が区外に流出していた。 以上を踏まえて2001年から練馬区民に練馬区内の事を知ってもらうために観光施策を推進した。 練馬区の名品21品目を選定し「ねりまの名品21」事業を推進する。 2002年練馬区独自の観光施策のビジョンを推進 練馬区民が練馬区に愛着を持ち、誇りが持てる街になるようにPRするものであり、練馬区以外の住民に対するものでなく、練馬区民に対する施策である。 練馬区は、人口の入れ替えが激しい（学生が多いため）。 2002年に観光資源調査を実施した。コンサルに委託し区内をくまなく探索してもらい、いいところを全て上げてもらった。 ○ なんでも選定するのか。 ◎ 条件を満たせばなんでも良い、年により増減があるが現在80くらいを選定している。 練馬区の良い所を知ってもらいたい、観光にあまりお金をかけられない、区が観光をPRしていることを区民に知ってもらうために観光誌（るるぶ）1冊全て練馬区の記事を掲載。（赤字が出た場合には区で負担する。24,000部以上売れないと赤字になる。協賛金（広告）を1050万円取れれば費用を相殺できるが、区では半額の525万円の予

算を用意した。広告等の募集は区が営業し、結果的に協賛金が集まったので区では1枠分だけ負担した。情報等の調査及び製作はプロに任せ、幸いにも、売り上げも好調であり赤字にはならなかった。

練馬区の成功後、各自治体で観光雑誌の発行が行なわれている。（八王子市・川崎市等）練馬区も第2弾を発行。

今後の農業施策

- ・ 練馬大根の復活・練馬大根競技会
- ・ 体験農園、観光農園（ブルーベリー等）
- ・ 体験農園、観光農園に付帯した施設（焼肉レストラン等）
- ・ 観光農園は、本人が楽しいことが大切である。

自治体の施策だけでは、観光資源に限界がある、住民は興味があるもの、暮し易さを求めているので観光だけではなじまない。

住民に地域の魅力あるところを認識させることが重要である。祭なども参加者が楽しいものでなければならない。

- 練馬区には道の駅はないのか。
- ◎ 道の駅はない。博物館の施設を利用しての共同直売所がある。他は、各農家の直売所がある。どこの農家が生産した野菜かが分かるので地場産の野菜の利用を推進している。
- 観光行政はどこでしているのか。
- ◎ 商工観光課が新たにでき、そこで行なっている。  
武蔵村山市ではどのような観光が必要であるのか、市外から人を呼ぶ観光を考えていても、市民の観光に対する意識を大切にしないと長続きしない。
- どのような観光施策が必要か。
- ◎ 武蔵村山の隠れた良いところ、市民が楽しめる所はどこか、都会にはない緑の憩いの場所ではないか。
- 道の駅を造るにはどうしたらよいか。
- ◎ 道の駅は休憩の場となっているが野菜の販売が重要である。野菜の販売が多くなければならない。
- 武蔵村山市は練馬区の10分の1の規模だが、何が出来るか対象を練り直してみたらどうか。
- 市内の観光マップを作れないか。
- 農業に関心はあるか。
- ◎ 農業後継者の育成、練馬大根の復活、観光農園等の推進を行なっている。
- 女性の意見はどうか。
- ◎ 練馬区観光協議会の構成は女性が過半数である。  
観光農園では経営は農主であるがブルーベリーは女性が行なっている所が多い。
- 体験農園は農協を通していいのか。  
農家主導である。利用者は区外の人が多く利用している。使用料は区民に対して補助金を出している。
- 練馬大根競技会にはどのくらい参加するのか。
- ◎ 200から300人ぐらい参加する。
- 観光資源調査にはどれくらい費用がかかったか。
- ◎ 国の雇用対策補助を利用して費用1000万円。人数は30名で約3ヶ月かかった。
- 調査員は区民か。
- 7割は区民である。
- 観光誌（るるぶ）の製作を依頼するとき出版社に知り合いがいたの

	<p>か。</p> <p>◎ 知り合いはいなかった。飛び込みで依頼した。          単独で観光誌を発行するのは人口23万人以上の市でなければ成功しないのではないか。(購入者が6万人以上必要)</p> <p>午前11時40分閉会</p> <p>(2) その他          次回は1月21日午後12時45分から行う。</p> <p style="text-align: right;">- 以上 -</p>
--	--

会議の公開・ 非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 ※一部公開又は非公開とした理由 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; height: 40px; margin-top: 5px;"></div>	傍聴者： <u>    0    </u> 人
-----------------	---	-------------------------

会議録の開示・ 非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等： ) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等： )
------------------	---

庶務担当課	市民生活部	地域振興課 (内線：225 )
-------	-------	-----------------

(日本工業規格A列4番)